

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	災害用備蓄品購入事業				担当部	総務部									
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	危機管理課								
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	危機管理係								
	総合計画 新基本計画	施策等	1 安全・環境		1 防災		2 災害発生時に迅速に対応できる体制を強化します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	2		項	1		目	15		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画														
	目的	何・誰を対象に	小牧市民、帰宅困難者													
		どの様な状態にするのか	大規模災害時、自宅が倒壊し避難所に来た人や帰宅困難者などのために非常食を備蓄することで災害時の混乱防止を図る。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 45,000食の非常食の備蓄を目標として、非常食の保存期限が5年であることから、約12,000食の買い替えを実施し、パークアリーナ小牧及び東庁舎地下1階の備蓄倉庫、避難所に指定してある各小中学校等の備蓄倉庫に非常食を保管した。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 消耗品費(2,773千円) アルファ米、乾パン、クラッカー、保存水等</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 消耗品費(2,993千円) アルファ米、保存用ビスケット、クラッカー、保存水等</p>														
受益者負担	無															

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,626	1,687	2,773	2,993	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	550	550	550	550
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	2,176	2,237	3,323	3,543	
対前年比	%			102.8	148.5	106.6		
財源	一般財源	千円	2,176	2,237	3,323	3,543		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	飲料水の備蓄 (1本1.5ℓ)(単年度)	本	目標		160	160	160
実績				160	160	160	
非常食の備蓄(単年度)	食	目標		8,246	8,246	11,996	10,236
		実績		8,246	8,246	11,996	
績	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
			非常食の備蓄(累計)	食	目標	45,000	45,000
			実績	52,080	50,476	46,866	
飲料水の備蓄 (1本1.5ℓ)(累計)	本	目標		800	800	800	800
		実績		800	800	800	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	非常食、保存水ともに、現行の備蓄計画に定める数量を確保している。				
		事業実施における課題	現行の備蓄計画は平成27年7月に公表した被害想定調査結果が反映されていない。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	十分な量の水、食糧、日用品等を備えることにより、大規模災害が発生したときに、避難者に対して迅速に必要な最低限の物資を供給することができるようになる。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成27年7月に公表した被害想定調査結果に基づく新しい備蓄計画を策定し、平成29年度以降の予算に反映させる。				
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの				
	判定理由	平成27年7月に公表した被害想定調査結果に基づき、今年度見直す備蓄計画によって、災害時の対応力強化を図る必要があるため。					
	29年度以降の改善案	平成27年7月に公表した被害想定調査結果が反映された新備蓄計画に基づき、備蓄品の購入を進める。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。